

2019 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
32401	経済のしくみ Basic Economics	早川 周	専門	2	選択	1・2年後期
科目の概要						
<p>将来、企業に就職する人はもとより、私たちが生活人として社会で生活していくためには「経済のしくみ」の知識は必要不可欠です。この科目は、生活の中にある経済のしくみとそれを理解する経済学の考え方の基礎を学習します。私たちが無意識に日々、コンビニでモノを買う「消費行動」も経済のしくみのひとつです。初めから「難しい」と決めつけず、理解しようという気持ちを持ち（主体性）、授業を聴き（傾聴力）、なぜかを考えてみる（課題発見力）が大切です。全体を通じ、建学の精神「努力」することの尊さに気付いてもらえれば幸いです。</p>						
学修内容			到達目標			
<p>① 経済のしくみ、経済学の用語（キーワード）の意味、基本的な考え方を理解する。</p> <p>② 受講者が将来、生活者、企業人等のそれぞれの進路において、役立つ経済（学）の基礎知識と「ものの見方」を獲得する。</p>			<p>① 経済学の用語（キーワード）の意味や基本的な考え方を理解し、説明できるようになる。</p> <p>② 日々、報道される経済の動きに関心を持ち、その意味や原因、自分の生活との関係を考えることができる。</p>			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	シラバスを使って、次回の授業内容を確認する。予習、復習の課題シートは必ず実行し、提出する(欠席した場合は欠席課題とするので後日提出する)。				
	働きかけ力					
	実行力	課題レポートは期限内に提出することができる。				
考え抜く力	課題発見力	課題レポートのテーマを自分なりに考え、選ぶことができる。				
	計画力					
	創造力	課題レポートに自分なりの意見を考え、書くことができる。				
チームで働く力	発信力	教員からの発問に自分の意見を述べ、伝えることができる。授業の毎回の課題シートに自分の疑問、意見を書くことができる。				
	傾聴力	教員の講義はどのようなことを言っているか考えながら聴き、大事なことはメモをとりながら聴くことができる。他の学生の発言に耳を傾け、自分の意見との違いを考えることができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	欠席、遅刻をやむをえない場合以外はしない。欠席、遅刻の届を必ず出す。5回の授業の実施に対し3回以上欠席した場合、授業を3回連続して欠席した場合はオフィスアワー(授業の前後に設ける予定)に講師控室や図書館2Fに行き、補習、助言を受ける。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
<p>テキスト: 中矢、上口『入門書を読む前の経済学入門 第4版』(同文館出版、2017)、2,160円(税込み) 毎回の授業では印刷教材(授業のポイント、関連資料、演習・復習兼振り返りシート)を配布する。 参考文献: 経済学の入門書で最近年に発行のもの。</p>						
他科目との関連、資格との関連						
<p>他科目との関連: 「ビジネススタディユニットの各科目」は関連性が深い。 資格との関連: 情報処理士・ビジネス実務士・メディカル秘書士</p>						
学修上の助言			受講生とのルール			
<p>① 講義形式を中心とするが、受講生の参加(授業中の発言、振り返りシートの記入)を求め、評価に反映する。</p> <p>② 授業で学んだことを基に、自分の周り(新聞、テレビ、インターネット等含む)にある経済の動きを観察し、自分なりに考えてみるようにする。</p>			<p>① 授業で配布する資料は原則、受講生の人数分のみを用意するので、保管には十分、注意する。</p> <p>② 欠席はやむをえない場合以外はしないようにする。また、連続して欠席をしないように注意する。</p>			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験	70	①	✓	① 授業で紹介した用語、基礎知識を理解しているかを評価する ② 実際に起きている経済の動きを学んだ知識で考えることができるかを評価する (傾聴力、課題発見力、創造力)
		②	✓	
小テスト				
レポート	20	①	✓	(レポート1、中間段階) 新聞、テレビ等のニュース、ネットのニュースサイトで見つけた経済ニュースをリストアップする。 (レポート2、期末) 経済問題を1つ選び、その内容と自ら解決策について意見を述べる。 (実行力、課題発見力、創造力)
		②	✓	
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性) シラバスを使って、次回の授業内容を確認する。予習、復習の課題シートは必ず実行し、提出する(欠席した場合は欠席課題として後日提出)。 (実行力) 課題レポートは期限内に提出することができる。 (課題発見力) 課題レポートのテーマを自分なりに考え、選ぶことができる。 (創造力) 課題レポートに自分なりの意見を考え、書くことができる。 (発信力) 教員からの発問に自分の意見を述べ、伝えることができる。授業の毎回の課題シートに自分の疑問、意見を書くことができる。 (傾聴力) 教員の講義はどのようなことを言っているか考えながら聴き、大事なことはメモをとりながら聴くことができる。他の学生の発言に耳を傾け、自分の意見との違いを考えることができる。 (規律性) 欠席、遅刻をやむをえない場合以外はしない。欠席、遅刻の届を必ず出す。5回の授業の実施に対し3回以上欠席した場合、授業を3回連続して欠席した場合はオフィスアワー(授業の前後に設ける予定)に講師控室や図書館2Fに行き、補習、助言を受ける。
		②		
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S(秀): 自分自身で経済の簡単な政策提案を行うことができる(課題レポートを作成することができた。筆記試験で該当する設問(記述式)に答えることができた)	B(良): 授業で紹介した経済の事例について説明することができる(筆記試験で該当する設問(記述式)に答えることができた)
A(優): 自分自身で経済の事例を調査、分析することができる(課題レポートを作成することができた。筆記試験で該当する設問(記述式)に答えることができた)	C(可): 各週の講義のC(可)の達成基準の設問を説明することができる(筆記試験で該当する設問(選択式、用語記入式)に答えることができた)

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベルC(可)の基 準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1週 /	経済学の特徴、対象を理解する 経済循環とは何か理解する	講義	・経済循環とは何か、説明 できる。	(復習)経済学の定義、目 的に関する演習問題に回 答する/「4月から変わる 経済の諸制度」の新聞記 事を読み、自分の生活と の関係を考え、回答する。	90	主体性、 傾聴力、 課題発 見力
2週 /	経済循環を構成する経済主体の 間の関係について理解する 自分の買いたいもの、欲しい物 を考える	講義 復習課題は授業内で解 説を行う。提出された課 題シートの返却。	・経済主体間の関係を具体 例で説明できる。	(予習)消費に関わる慣用 句の意味を調べる/自分 が今ほしいと思っているも のをあげる。	90	主体性、 傾聴力、 課題発 見力
3週 /	消費の定義、経済に果たす役割 を理解する 消費の基にある人間の欲求を理 解する 自分の食品に対する欲求を考え る	講義 予習課題は授業内で解 説を行う。提出された課 題シートの返却。	・消費が国の経済に果たし ている役割を説明できる。	(復習)国内総生産に占め る消費の大きさ、役割につ いての演習問題に回答す る。 (予習)卒業後、就職して 働く目的をあげる。	90	主体性、 傾聴力、 課題発 見力
4週 /	働くこと、労働の意義を理解す る 賃金、所得の意味を理解する。 「働き方改革」の考え方を知る。	講義 復習・予習課題は授業 内で解説を行う。提出さ れた課題シートの返却。	・労働の尊さを説明するこ とができる。	(予習)貯蓄に関わる慣用 句の意味を調べる/現在 の普通預金の金利を調べ る/1,000万円の貯蓄す るために現在の月収で何年 かかるかを計算する。	90	主体性、 傾聴力、 課題発 見力
5週 /	貯蓄の意味、経済に果たす役割 を理解する 金利のしくみについて理解する 日本の貯蓄、貯蓄率の現状を知 る	講義 予習課題は授業内で解 説を行う。提出された課 題シートの返却。	・貯蓄が国の経済に果たし ている役割を説明できる。	(復習)貯蓄の持つ社会的 意義について演習問題に 回答する。 (予習)価格の上昇下降に 対する自らの消費者行動 についての演習問題に回 答する。	90	主体性、 傾聴力、 課題発 見力
6週 /	需要曲線と供給曲線の特徴を確 認する 自由市場経済と市場機構の意 味、機能について知る。	講義 復習・予習課題は授業 内で解説を行う。提出さ れた課題シートの返却。	・需要と供給の関係を説明 できる。	(復習)需要(曲線)、供給 (曲線)の意味についての 演習問題に回答する。	90	主体性、 傾聴力、 課題発 見力
7週 /	国民所得の意味を理解する 雇用・企業者・財産所得の意 味を理解する GDPの意味、使い方を知る	講義 復習課題は授業内で解 説を行う。提出された課 題シートの返却。	・GDPで測ることのでき る事を説明できる。	(復習)国民所得の演習問 題に回答する。 (予習)付加価値、三面等 価の法則の意味を調べ る。	90	主体性、 傾聴力、 課題発 見力
8週 /	分配国民所得、生産国民所得、 支出国民所得について意味と現 状を理解する 三面等価の法則を知る レポート1を提出する。	講義 復習・予習課題は授業 内で解説を行う。提出さ れた課題シートの返却。	・三面等価の法則を説明で きる。	(復習)国民所得の統計数 値により測ることのできる ことについての演習問題に 回答する。 (予習)景気が良くなる・悪 くなると起きることを書 き出す。	90	主体性、 傾聴力、 課題発 見力 実行力、 創造力、 発信力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベルC(可)の基 準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9週 /	好況、不況の意味を理解する 経済循環の考え方を理解する 景気循環の種類を知る	講義 復習・予習課題は授業 内で解説を行う。提出さ れた課題シートの返却。	・好況、不況でおきること を説明できる。	(復習)経済循環について の演習問題に回答する。 (予習)税の種類に関する 演習問題に回答する/消 費税増税に対する賛成・ 反対について自分の意見 と理由をまとめる。	90	主体性、 傾聴力、 課題発 見力
10週 /	政府の役割と政府の収入を理解 する 望ましい税制と国債発行の現状 を知る 財政政策の役割を理解する	講義 予習課題は授業内で解 説を行う。提出された課 題シートの返却。	・財政赤字とはどういうこ とを説明できる。	(復習)国債、税金に関す る演習問題に回答する。 (予習)金融という用語の 意味を調べる/自分が金 融機関へ行く目的をあげ る。	90	主体性、 傾聴力、 課題発 見力
11週 /	金融システムの役割を理解する 通貨の供給、物価の安定の意味 を理解する 金融政策の役割を理解する	講義 復習・予習課題は授業 内で解説を行う。提出さ れた課題シートの返却。	・お金を借りることの意味 を説明できる。	(復習)すべての講義内容 を見直し、定期試験の想 定問題に回答する。 (予習)最近、買った外国 製品を書き出す。	90	主体性、 傾聴力、 課題発 見力
12週 /	国際貿易の現状を理解する 比較生産の原理を理解する 自由貿易と保護貿易に意味を理 解する	講義 復習・予習課題は授業 内で解説を行う。提出さ れた課題シートの返却。	・自由貿易と保護貿易の違 いを説明できる。	(復習)自由貿易、保護貿 易についての演習問題に 回答する。 (予習)次回までのある時 点での円ドル交換比率を 調べる。	90	主体性、 傾聴力、 課題発 見力
13週 /	外国為替とは何かを理解する 外国為替レートの仕組みとその 意味を理解する	講義 復習・予習課題は授業 内で解説を行う。提出さ れた課題シートの返却。	・円高、円安とはどうい うことか説明できる。	(予習)「少子高齢化」 の意味と2050年の人口 予測値を調べる	90	主体性、 傾聴力、 課題発 見力
14週 /	人口問題について理解する 発展途上国の人口問題を理解す る 先進国の人口問題を理解する	講義 復習・予習課題は授業 内で解説を行う。提出さ れた課題シートの返却。	・人口減少の経済への影響 を説明できる。	(復習)人口問題の演習問 題に回答する。	90	主体性、 傾聴力、 課題発 見力
15週 /	世界経済の現状を理解する 食糧の自給率、輸入の現状を理 解する 世界の貧困、飢餓の現状を知る レポート2を提出する	講義 復習課題は授業内で解 説を行う。提出された課 題シートの返却。	・日本の食糧自給率の現状 について説明できる。	(復習)試験の想定問題を 配布するので自分なりの 答えを考える。	90	主体性、 傾聴力、 課題発 見力 実行力、 創造力、 発信力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力